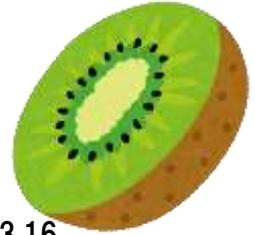


様

キウイフルーツ特報 No.1



2023.3.16

JA 中野市営農センター

JA 中野市キウイフルーツ研究会

本年の初期生育は、平年より早くなる見込みです。ただし今後の気象によっては、気温が上がりさらに生育が進む可能性があります。各園地の生育状況をよく観察し、予防を意識した防除を実施しましょう。特に、カイガラムシの果実被害が散見されました園もありましたので、発生園は今回の防除を徹底して下さい。

2023年の栽培日誌は3月末での配布予定となっております。

本年も防除記録の徹底・提出をお願いします。

病害虫防除

◎発芽前の散布(3月下旬~4月上旬)

散布薬剤	水	90 ℓ 当り	散布日	月	日
	展着剤(ハイテンパワー)	10m ℓ	散布量		ℓ
	石灰硫黄合剤	10 ℓ (発芽前、-)			
対象病害虫	カイガラムシ類				
散布量	10a当り300 ℓ *若木の場合、樹体に十分かかる量を散布する。				

注意事項

- ① 石灰硫黄合剤は、他の園地や隣接するハウスビニールにかからないように散布してください。
- ② 石灰硫黄合剤に替えてスプレーオイル 100 倍でもよい。
- ③ 剪定痕には、必ずトップジン M ペーストなど癒合剤を塗布してください。
- ④ **果実軟腐病対策**：前年度の着果痕(果柄)には、果実軟腐病の越冬菌が潜んでいます。着果痕を切除し、越冬菌を減らしましょう。
- ⑤ **カイガラムシ対策**：冬季(休眠期)に主幹部の粗皮削りを丁寧に行う。

次回予定：4月28日(金)

・開花直前の散布について